

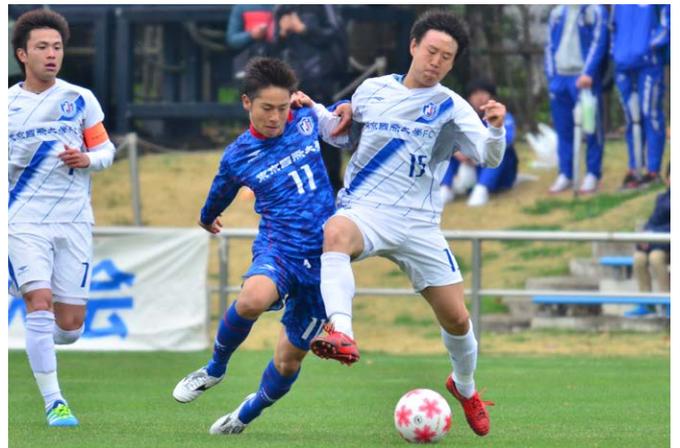
- ① … 東京国際大学、3連覇!～彩の国カップ第22回埼玉県サッカー選手権大会～・第4種リーグ戦開幕
- ② … 日本から2人目!アジアサッカー連盟の審判講習会へ招待～大東文化大学4年生・堀川うららさん～
- ③ … 埼玉フットボールカンファレンス2017開催
- ④ … 「試合中 文句を言わない!」について ～岡田 泉 副会長/審判委員長
- ⑤ … 大会記録●県内大会 1種社会人・大学・3種 ●県外大会 4種・女子
- ⑥ … 大会記録●県外大会 4種・フットサル インフォメーション 編集後記

●発行/(公財)埼玉県サッカー協会 〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和1-21-18 雁ヶ音ビル204号室 Tel 048-834-2002・Fax 048-834-2004 <http://www.saitamafa.or.jp/>

東京国際大学、3連覇! ～平成29年度 彩の国カップ 第22回埼玉県サッカー選手権大会～

4月8日、「平成29年度 彩の国カップ 第22回埼玉県サッカー選手権大会」決勝戦が埼玉スタジアム第2グラウンドで行われ、東京国際大学が東京国際大学FCを4対1で破り、埼玉県代表として「第97回天皇杯全日本サッカー選手権大会」への出場を決めました。東京国際大学は3連覇となりました。なお、東京国際大学は4月22日、群馬県立敷島公園県営サッカー・ラグビー場で開催される天皇杯1回戦、tonan 前橋と対戦します。

| | | | |
|-----|-----------|-------|------------------|
| 1回戦 | 大成シティ坂戸FC | 0 - 1 | 平成国際大学 |
| | ドリームス | 1 - 4 | 埼玉工業大学 |
| 準決勝 | 東京国際大学 | 5 - 0 | 平成国際大学 |
| | 埼玉工業大学 | 0 - 2 | 東京国際大学FC (延長) |
| 決勝 | 東京国際大学 | 4 - 1 | 東京国際大学FC |



決勝 東京国際大学 vs 東京国際大学FC



優勝 東京国際大学



準決勝 東京国際大学FC vs 埼玉工業大学



準決勝 東京国際大学 vs 平成国際大学

第11回埼玉県第4種サッカーリーグ戦、開幕

4月8日、9日から「第11回埼玉県第4種サッカーリーグ戦」が県内各地で開催されました。9日はあいにくの雨でしたが、一生懸命にボールを追いかけプレーしている子どもたちの姿が印象的でした。

今回は491チームが参加し、57ブロックで熱戦が繰り広げられます。年間を通じてのリーグ戦です。日々成長する子どもたちのプレーにご声援をお願いします。



栗橋Jr vs 江面ファースト



FC加須U12 vs 加須少年



行田レジェンド vs 久喜キッカーズ



杉戸西 vs KZファイブ

日本から2人目! アジアサッカー連盟の審判講習会へ招待

～大東文化大学4年生・堀川うららさん～

埼玉に世界を目指すレフェリーが現れました。審判インストラクターでもある渡辺典子副会長がお話を伺いました。

工夫するうちに面白くなって

渡辺 すごいですね。まずは今回招待された審判講習会について教えてください。

堀川 いろいろとご指導いただき、ありがとうございます。今回呼ばれたのは「AFC Project Future Referee Course-Batch 2016/1」というコースです。昨年の5月に中国で開催された「AFC U14 Girl's Regional Championship 2016 (東アジア地区)」でのレフェリングを評価して招待され、これから2年間、このコースに参加させていただくことになりました。一昨年も中国での同じ大会に呼ばれましたが、そのときは何もありませんでしたけれど。

渡辺 そもそも出身はどちらですか。あとサッカーとの出会いは何ですか？

堀川 長崎県の島原市です。父がまだ島原商業に赴任されたばかりの小嶺先生(忠敏氏・元国見高校教諭)に指導していただいていたんです。その父がときどき庭でボールを蹴っているのを見て「サッカーって楽しそうだな」と思ったんです。



渡辺 典子 副会長

した。高校ではサッカーへ戻り、アンベリール島原というクラブチームで活動していました。

渡辺 埼玉に来たときにはすでに審判2級でしたよね。

堀川 はい。高校2年のときにクラブのコーチ3人から「審判、やってみない?」と誘われたんです。

渡辺 3人からですか？

堀川 そうなんです。コーチは男性2人、女性1人なのですが、



渡辺 ボールを蹴ることができる大きなお庭なんですね(笑)。

堀川 はい(苦笑)。そこから少年団に入ってサッカーを始めましたが、進学した中学校に女子サッカー部が無かったので、母がやっていたバレーボールを3年間やり……小学校のときに足を使っていたので、中学では手を使おうか、くらいで

全員2級を持って指導者と並行して審判活動もされていました。それにそれぞれ本業もお持ちです。誘われて……最初は「ルールがわからないからイヤです」と言っていたのですが、コーチたちが主審をする練習試合や公式戦に連れていってもらえるようになって、副審をやるようになりました。最初はわからないことが多かったのですが、試合後にいろいろとアドバイスをいただいているうちに自分から「次はこうしてみよう」「もっとこうしよう」と工夫し面白くなりました。しばらくしたら長崎県協会の審判部の方が、私が副審をしている後ろに立って指導してくれるようになったんです(笑)。

渡辺 まさにエリート養成ですね。他に同じような人いましたか？

堀川 私だけでした。実は長崎では2014年の国体に向けて、女性審判を育成することが目標だったのでその一環で指導していただきました。実際、国体では3試合担当させていただきました。2級を取って、まだ1年経っていませんでしたけど(笑)。

渡辺 ピンポイントだったんですね。それにしても、堀川さんに目を向けた3人のコーチの皆さんがすごいですよ。いい目をされていたんですね。

そこから大学で埼玉へいらしたんですね。

審判に興味を持ってくれる人が増えている

堀川 選手をやりながらですが、2級になりましたので中学校の男子の試合を担当するなど活動をしていましたが、レベルの高いレフェリングができる環境にいたいと思うようになり、関東へ来ることにしました。

いろいろな大学のオープンキャンパスを見学しましたが、大東文化大に来たとき川本先生(竜史氏)から

「これから女性の審判は特に重要な人材になるので、あなたのような学生の育成に力を入れていきたい」と言っていたので、「ここで選手と審判を両立させたい」と思って入ることにしました。

渡辺 キャンパスの中の坂がいいですね。体力づくりにはもってこいです(笑)。選手と審判、両立できていますか？

堀川 川本先生からは「大丈夫か」と心配していただいています。意味合いとしては、審判活動をしていることでチームの中の「選手」としてのポジションがどうなのか、ということと世界に出ていくので体のことを気遣っていただけているのかなと。

現状は審判活動を優先にさせていただいており、チームメイトも応援してくれています。「こういうのはファールだね?」「3級取りたいんだけど、どうすればいい?」など審判に関心を持ってくれる仲間が増えているのがうれしいですね。

渡辺 身近に審判をしていて世界に行く仲間がいれば、興味を持つでしょうし、応援もしてくれるでしょう。

埼玉での審判活動はいかがですか？

堀川 チーム数、審判数も長崎とは全く違います。いろいろなものを吸収できる環境にあると思っています。また関東、埼玉に来なかったら、なでしこリーグで副審を担当させていただいたり、今回のようにAFCの講習会に参加することもなかったと思います。

渡辺 それも日本で二人目とのことですが、AFCがこういう若い審判員の発掘・育成に取り組んでいることを知りませんでした。どういうステップだったのですか？

堀川 昨年、中国での大会に呼ばれて、そのときは12人集められました。そこから残ったのは私ともう一人になります。



堀川 うららさん

渡辺 昨年の大会は24歳以下という年齢制限があって、働いている方は無理だから自然と「堀川さんどう？」っていうことで推薦させてもらいました。それもタイミングですね。

さて、大学4年になって、就職も含めて考えなければならぬ時期だと思います。将来をどのように考えていますか。

堀川 審判の世界はもう引き下がれないと思うので(笑)、続けようと思います。正直、2級になった後は少しずつ継続していくことができればいいなと思ってただけで、国際審判というのは遠い存在でした。それがAFCの大会に呼んでいただいたことから国際審判を目指そうと思うようになりました。昨年、中国に呼ばれた仲間は皆さん、上を目指していました。その中でも韓国の友人ができ、彼女とは「オリンピックかワールドカップで会いましょう」という約束をしました。

渡辺 ご両親とか周りの皆さんも期待しているのではないですか。

堀川 両親から「行けるところまで行きなさい」と言ってもらっています。ただクラブのコーチの皆さんからは「抜けられない道に誘ってごめんね」と謝られました(笑)。ただ、クラブ内で審判をやりたいという子が増えたとも聞きました。そして「上を目指してがんばれ」とも言っていたいています。

渡辺 確かに抜けられませんね(笑)。

私から見てですが、まだまだレフェリングについて「上手い」



昨年5月、中国にて 堀川さん(左から2番目)

とは言えませんが、どこに行っても愛されていますし、誰とでも仲良くできるという人間性では素晴らしいものを持っていると思います。もう少し技術レベルが上がれば、大丈夫。期待していますね。また報告をしてください。

堀川 ありがとうございます。これからもよろしくお願いします。

埼玉フットボールカンファレンス2017開催

3月11日(土)、春日部高校にて「埼玉フットボールカンファレンス2017」を開催しました。

まず田嶋幸三JFA会長の基調講演では、日本サッカーを支えてくださったクラマーさんなど国内外の先人達の言葉を引用しながら、今一度指導者としての原点を考えさせる話から入り、現在のJFAの育成年代に関する考え方、そして私たち指導者がプレーヤーたちにどのような基準でどう接し、何を目指すのかを熱く話していただきました。その中で浦和南高校出身ということもあり、埼玉に寄せる気持ちはだれより強く、期待を込めた激励の言葉をいただきました。忙しい中わざわざ時間を割いていただき90分の貴重な講演でした。

次に城福浩NTC関東担当ダイレクターの講演では、ナショナルトレセンのチーフとして又、関東トレセンのスタッフとして一緒に選手を指導していた頃から、昨年まで在籍していたJリーグの監督としての経験なども織り交ぜながら現在の世界のサッカーの流れなども踏まえた上で、日本サッカーの目指すところ、世界基準を具体的なプレーのイメージなど映像を使い、わかりやすく解説していただきました。

福田直史(埼玉県サッカー協会技術委員長)からは、埼玉県の現状をデータで分析し、指導者に理解を深めていただき、今後の活躍の一員として協力をお願いしました。各種別からは各カテゴリーの年間の活動報告のプレゼンがありました。

菊原伸郎(埼玉県指導者インストラクター)からは、浦和のまちフェスで作成した「同間異感」という表現をテーマにした映画

の話がありました。指導者が言葉を道具としてコーチングする場合にも指導者が意図したとおりにプレーヤーが感じているかどうかは定かではありません。そうしたコミュニケーションの「ゆがみ」を、ユーモアを交えながら独特の切り口で話していただきました。

今井純子JFA女子委員長からは、グラスルーツという考え方、特に障害者サッカー団体の整備と今後の取り組み、そして誰もが障害者となつながら日常的にサッカーを楽しめるという成熟したスポーツ文化のあり方をお聞きしました。埼玉でも進めていかなければいけないことです。

また、村井満Jリーグチェアマンからは、ビデオレターでメッセージをいただきました。プロクラブの果たす役割、クラブの評価、そして埼玉サッカーに対する期待が込められていました。

以上、盛りだくさんの内容で無事終了することができました。関係各位の方々には大変お世話になりました。今回は会場の関係もあり、ABC級コーチの方のみの参加でしたが、次回(2019年3月予定)は1000人規模の会場を確保してD級やキッズリーダーや資格のない方も含めて実施したいと考えております。皆でつくるカンファレンスにしていきたいと思っておりますのでご協力をよろしくお願いいたします。

(公財)埼玉県サッカー協会 技術委員長 福田直史
ユースダイレクター 荻野清明



「試合中 文句を言わない!」について ～岡田 泉 副会長／審判委員長

昨今、さらにモラル、マナーの低下が叫ばれています。これは社会の変化や価値観の変化によるものだと思いますが、このままでいいのでしょうか。このような時代に、スポーツが求められています。スポーツには規律やマナー、そしてフェアプレーなど様々な教育的要素があるからです。しかし、私たちが関わるサッカーの試合会場でも、モラル、マナーの低下を感じさせられることが多々起こっています。この取り組みは、スポーツモラルの向上を目指すものです。

そこで審判には何が求められるのでしょうか。思うに審判には、ゲームコントロールや一つひとつのジャッジをするだけでなく、その根底にはスポーツを通じて人を育てることが求められているのです。改めて「スポーツが人を育てる」という思いを持っていないといけないと考えるのです。

日頃の練習においては、各チームコーチが様々なことを選手に提供しますが、試合になるとレフェリーが選手をリードしていかなくてはなりません。

さて、今回SFAから発信している「試合中 文句を言わない!」ですが、審判を守るものではありません。上級審判と審判インストラクターの皆さんには「No Dissent」(異議はなしで)と伝えています。審判の皆さんにお聞きしたいのですが、競技規則に書いてあっても勇気を持って実践できなかったことはありませんか? 「サッカーが下手だから審判をやっているんだろう」。そんなことを言われたことはありませんか? もうそういうことを言う人はほとんどいなくなったと思いますが、審判の皆さんには審判としてのプライドを持ってほしいのです。繰り返しになりますが、ぜひ「人を育てている」という自負を持っていただきたいのです。より責任が重くなったと理解してください。

審判同士の中でもそうです。1級審判の主審に対して、副審が3級だとします。副審の方、主審に遠慮をしてしまいませんか。遠慮するというのは、サポートになりません。主審の目となり、耳となり、その現象を主審に伝えることこそがサポートです。副審だからこそ見えていること、聞こえていること、あると思うの

です。でも「ここでプレーを止めていいのか」と気にしてしまうでしょう。それはそれで理解できるのですが、やはり違うのです。

この「試合中 文句を言わない!」ですが、試合環境をよくするための取り組みです。主審への抗議などで無意味に試合を中断させることなく、アクチュアルプレイングタイムを増やすことは選手にとって有益なことです。よく年配の皆さんから「サッカーは試合中、文句ばかり言っているから見ない」という話をお聞きしますが、緊張感のある試合展開が続けば、年齢層を超えて観客の皆さんに受け入れられることでしょう。

さて、改めてですが審判は人を育てる立場にあるということです。試合のときに、皆さんには勇気を持ってジャッジしていただきたいと思います。

「試合中 文句を言わない!」ですが、皆さんに意図をどう伝えるかが大きな課題でもあります。誰に「文句を言わない!」のか、はっきり明記していません。その相手が審判だと思われがちですが、そうではありません。繰り返しますが、審判を守るものではありません。そこを審判が理解して試合に臨んでほしいのです。またこの先、「試合中 文句を言わない!」が定着していく中で審判に対しても文句が出ないということが多々出て来ることでしょう。審判の皆さん、ここで「文句を言われなかったから、今回のレフェリングは100点かな」とは思わないでください。そうではありません。「試合中 文句を言わない!」が浸透していっただけなのです。そこで、担当審判を評価するインストラクターの目がますます重要になるでしょう。「ナイスコントロール!」と声をかけてもらうのと、無言とは意味が違うということです。「試合中 文句を言わない!」の成果、スポーツモラルの向上については、試合に関わる皆さん全員が目で見えていかなくてはならないでしょう。

このような取り組みも、競技規則に賛同するのも、守ろうという意思を持つのも「人」です。ですからSFAは「人」づくりを行います。



埼玉県サッカー協会は、
世界に先駆けて、
スポーツモラルの向上を目指します

まずは

試合中 文句を言わない!

からスタートです

「スポーツモラル」とは……

ルールやマナー・エチケットを遵守することで、ゲームの公正が保たれます。

これがフェアプレー精神であり、チームメイトや相手選手など仲間を尊重する精神がスポーツマンシップです。

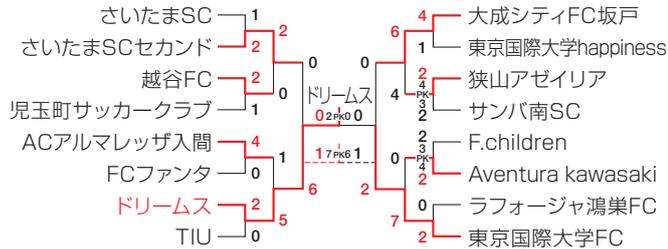
この2つが「スポーツモラル」の根幹です。

大会記録 ● 県内大会

1種・社会人

平成29年度彩の国カップ埼玉県サッカー選手権大会 埼玉県社会人サッカー連盟会長杯

1月8日～3月5日 熊谷スポーツ文化公園補助競技場他

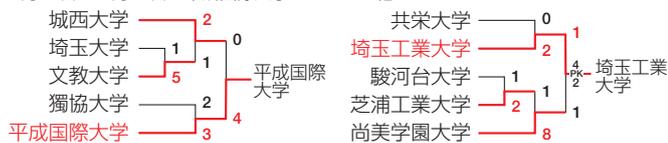


※優勝したドリームスと3位の大成シティFC坂戸が、社会人代表として「彩の国カップ」へ出場する

大学

平成29年度第22回彩の国カップ大学代表決定戦

2月26日～3月12日 平成国際大学グラウンド他

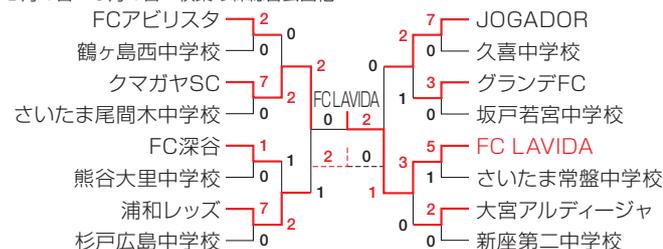


※平成国際大学と埼玉工業大学が「彩の国カップ」へ出場する

3種

第19回埼玉県ユース(U-13)サッカー選手権大会

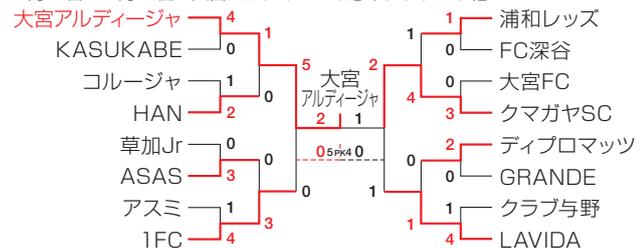
2月4日～3月4日 秋葉の森総合公園他



※優勝はFC LAVIDA

第26回埼玉県クラブユース(U-14)サッカー選手権大会

12月10日～1月28日 大宮アルディージャ志木グラウンド他



※優勝は大宮アルディージャジュニアユース

大会記録 ● 県外大会

4種

第27回関東選抜少年サッカー大会

2月25日、26日 ひたちなか市総合運動公園スポーツ広場他

●予選リーグ

埼玉県選抜: 2位通過

- 埼玉県選抜 2-1 茨城県TC U-12
- 埼玉県選抜 4-2 千葉県TC U-12 ホワイト
- 埼玉県選抜 0-2 新潟県TC U-12

埼玉県TC選抜: 2位通過

- 埼玉県TC選抜 2-1 長野県選抜
- 埼玉県TC選抜 1-3 神奈川県TC U-12
- 埼玉県TC選抜 8-0 栃木県選抜

●決勝リーグ

埼玉県選抜: 1位通過

- 埼玉県選抜 2-1 千葉県TC U-12 ブルー
- 埼玉県選抜 1-0 相模原TC

埼玉県TC選抜: 1位通過

- 埼玉県TC選抜 1-0 東京都U-12 選抜ブルー
- 埼玉県TC選抜 1-1 東京都U-12 選抜ホワイト

準決勝

- 埼玉県選抜 0-1 埼玉県TC選抜

決勝

- 埼玉県TC選抜 0-1 神奈川県TC U-12

※埼玉県TC選抜が準優勝、埼玉県選抜は3位

女子

第28回全国レディースサッカー大会

3月18日～20日 時之栖スポーツセンター 裾野グラウンド

●1次ラウンド・グループA

- UILANI FC 0-0 みえ高田FC(三重)
- UILANI FC 7-0 HABATAKE(北海道)
- UILANI FC 6-0 Kochi ganador FC(高知)

※UILANI FCは1位トーナメント進出

●1位トーナメント

1回戦

- UILANI FC 0-0 FC.VIDA Feliz(千葉)

決勝

- UILANI FC 1-0 小平サッカークラブ(東京)

※UILANI FCは大会連覇を達成。



周りの方々の支援のお陰で、2連覇を達成する事が出来ました。一度はサッカーを引退した仲間が再び集まり、楽しく戦う事ができました！3連覇を目指してまた楽しんでボールを蹴りたいと思います。(滝口牧子代表)

キャノン ガールズ・エイト

第14回JFA関東ガールズ・エイト(U-12)サッカー大会

3月4日、5日、ひたちなか市総合運動公園スポーツ広場他

●予選リーグ

Group:A 埼玉県U-12 選抜TC: 1位通過

- 埼玉県U-12 選抜TC 9-0 千葉県トレセンU-12 ピンク
- 埼玉県U-12 選抜TC 8-0 茨城 Flora
- 埼玉県U-12 選抜TC 11-0 群馬県トレセン ホワイト

Group:B 埼玉県U-12 選抜DX: 3位通過

- 埼玉県U-12 選抜DX 0-5 千葉県トレセンU-12 グリーン
- 埼玉県U-12 選抜DX 2-3 東京都選抜 SAKURA
- 埼玉県U-12 選抜DX 2-0 群馬県トレセン レッド

Group:C 埼玉県U-12 選抜UT: 3位通過

- 埼玉県U-12 選抜UT 2-1 千葉県トレセンU-12 イエロー
- 埼玉県U-12 選抜UT 1-1 東京都選抜 YURI
- 埼玉県U-12 選抜UT 0-5 神奈川県TC U-12 バンデ

Group:E 埼玉県U-12 選抜SP: 3位通過

- 埼玉県U-12 選抜SP 1-1 神奈川県TC U-12 リヤン
- 埼玉県U-12 選抜SP 1-1 茨城 Tiara U-12
- 埼玉県U-12 選抜SP 1-1 東京都選抜 HIMAWARI

●決勝リーグ1組 埼玉県U-12 選抜TC: 1位通過

- 埼玉県U-12 選抜TC 4-1 東京都選抜 YURI
- 埼玉県U-12 選抜TC 3-1 東京都選抜 HIMAWARI
- 準決勝 埼玉県U-12 選抜TC 1-0 東京都選抜 SAKURA
- 決勝 埼玉県U-12 選抜TC 0-0 東京都選抜 SUMIRE (2PK3)

※埼玉県U-12 選抜TCは準優勝

第4種

J全農杯チビリンピック2017小学生8人制サッカー大会 in 関東

3月19日、20日 那須塩原市青木サッカー場

●予選リーグ

(Group:B) 新座片山フォルティシモ少年団:1位通過

新座片山フォルティシモ少年団 4-0 フォルトナサッカークラブ

新座片山フォルティシモ少年団 2-1 柏レイソルU-12

新座片山フォルティシモ少年団 3-1 パディサッカークラブ

(Group:D) 江南南サッカー少年団:1位通過

江南南サッカー少年団 1-0 ヴァンフォーレ甲府U-12

江南南サッカー少年団 4-0 ヴェルフェたかはら那須U-12

江南南サッカー少年団 2-0 PALAISTRAU-12

●決勝トーナメント

1回戦

新座片山フォルティシモ少年団 5-1 鹿島アントラーズジュニア
(茨城県第2代表)

江南南サッカー少年団 2-0 パディサッカークラブ江東
(東京都第1代表)

準決勝

新座片山フォルティシモ少年団 0-1 江南南サッカー少年団

決勝 江南南サッカー少年団 0-1 横浜F・マリノスプライマリー
(神奈川県第1代表)

※第2位の江南南サッカー少年団は「J全農杯チビリンピック2017小学生8人制サッカー大会全国決勝大会」に関東地域代表として出場する

フットサル

第19回関東リーグ2部入れ替え戦

1月22日

烏天狗/IMPERIO浦和FC 3-5 パディーランツァーレ

インフォメーション

●2018 FIFA ワールドカップアジア最終予選第7戦

3月28日、日本代表は埼玉スタジアムにて「2018 FIFA ワールドカップアジア最終予選」の第7戦としてタイ代表と対戦しました。結果はGK川島永嗣選手(浦和東高校出身)が相手PKをセーブするなどの活躍があり、4対0で勝利しました。これで5勝1分1敗となり、サウジアラビアと勝ち点16で並びましたが、得失点差でグループ首位となりました。

日本代表はこの後、6月13日にイラクと対戦し、8月31日には埼玉スタジアムでオーストラリアを迎え撃ちます。引き続き、ご声援をお願いします。

●「JFAキッズ(U-8)サッカーフェスティバル2016 IN 越谷」開催

3月18日、越谷しらこばと運動公園陸上競技場にて「JFAキッズ(U-8)サッカーフェスティバル2016 IN 越谷」を開催しました。参加したのは22チーム、245名の子どもたちでした。



2017年度も積極的にキッズに向けた普及活動をしてまいります。よろしくをお願いします。

●各種リーグ開幕

2017プレナスなでしこリーグが3月26日から開幕しています。浦和レッズレディース、1部に復帰したちふれASエルフェン埼玉の2チームが戦っています。

大宮アルディージャユースと今年昇格した浦和レッズユースが参加している「高円宮杯 U-18サッカーリーグ2017 プレミアリーグ」は4月8日に開幕しました。浦和レッズは初戦に昨年度の王者である青森山田を3対2で破って好スタートを切りました。

4月15日からはさいたまSC(1部)と東京国際大学FC(2部)

が所属する「関東サッカーリーグ」、東京国際大学が1部復帰した「JR 東日本カップ2017 第91回関東大学サッカーリーグ戦」、さらには「関東女子サッカーリーグ」が開幕しました。関東女子の1部には浦和レッズレディースユースと東京国際大学、2部には武蔵丘短期大学、尚美学園大学が参加しています。ぜひ、お近くでの開催時にはご観戦ください。

●2017プレナスなでしこリーグ

<http://www.nadeshikoleague.jp/>

●高円宮杯 U-18サッカーリーグ2017 プレミアリーグ

http://www.jfa.jp/match/prince_takamado_trophy_u18_2017/premier_2017/east/schedule_result/

●関東サッカーリーグ

<http://www.kanto-sl.jp/>

●JR 東日本カップ2017 第91回関東大学サッカーリーグ戦

<http://www.jufa-kanto.jp/>

●関東女子サッカーリーグ

<http://www.kantolsl.com/>

●埼玉国際サッカーフェスティバル2017

3月18日~20日 浦和駒場スタジアム他

U-15(男子)

1回戦 マラッカユナイテッド 0-3 埼玉県選抜A

埼玉県選抜B 1-0 新潟県選抜

決勝 埼玉県選抜A 2-1 埼玉県選抜B

U-16(男子)

1回戦 矢板中央 3-0 武南

正智深谷 0-1 埼玉県選抜A

埼玉県選抜B 0-1 西武台

浦和南 3-2 慶應義塾

準決勝 矢板中央 0-0 埼玉県選抜A

(5PK4)

西武台 1-1 浦和南

(6PK7)

3決 埼玉県選抜A 1-0 西武台

決勝 矢板中央 5-3 浦和南

U-18(女子)

1回戦 タイ王国 2-2 埼玉県選抜

(1PK4)

浦和レッズレディースユース 0-4 十文字高校

3決 タイ王国 0-3 浦和レッズレディースユース

決勝 埼玉県選抜 3-2 十文字高校



U-15決勝 埼玉県選抜A vs 埼玉県選抜B

U-16決勝 浦和南 vs 矢板中央



表彰式 U-18(女子)優勝 埼玉県選抜

編集後記

ワールドカップ予選で日本代表が完勝し、浦和レッズがACLのグループリーグで首位に立つなど、県内では賑わっていますが、そんな中でまだ1勝が遠い大宮アルディージャのことが心配です。いったいどうしてしまったのでしょうか。もちろん、この号が発行された頃には1勝してくれていると信じていますが、4月30日には「さいたまダービー」も

ありますので、奮起を期待しています。

「試合中 文句を言わない!」のキャンペーンの一環として、公式ウェブサイト上で「試合に対する意見書」のフォームを設置しました。よりよい試合環境を整えるためにもご意見をいただければ幸いです。ご利用ください。(荒川)